
はしもと市議会だより

SHIGIKAI PRESS

vol.74 / February 2023



チューリップをおもちゃのカメラで撮影中
撮影者：市内在住 是松好美さん

11月臨時会

11月4日に開催し、一般会計補正予算案を可決しました。

内容は、原油価格の高騰や物価高により影響を受けている事業者や住民税非課税世帯等を支援するものです。



12月定例会

11月28日から12月16日まで開催し、次の47件を審議しました。

市長提出議案45件

- ・ 条例の制定案 2件
- ・ 条例の改正案 4件
- ・ 令和4年度各会計補正予算案 20件
- ・ 令和3年度各会計決算認定案 13件
- ・ そのほかの議案 6件
- 請願1件
- 議員提出議案1件
- ・ 条例の制定案 1件

令和3年度各会計決算の認定案13件を原案のとおり認定、請願については不採択とし、その他の議案については、いずれも原案のとおり可決しました。



4年度
補正予算

工業団地造成事業特別会計

【全会一致で可決】

工業団地造成事業に要する経費 【8億3,953万9千円】

あやの台北部工業団地の造成工事の施工に際し、追加工事や物価高騰などの影響により工事費が大幅に増加したことにによるものです。

問 6月議会で約7億9千万円増額し、今回さらに約8億4千万円の増額となっている。前回補正時に想定できなかったのか。

答 事前に地盤調査等を行っていますが、想定外の場所の問題が多々発生し工事に影響を及ぼしています。事業を進める中で現場の状況は日々変化しているため、今後も想定外のことが起こる可能性があります。設計変更等を行いながら対応していきます。





請願

市民のくらしを守るため、国民健康保険税の引き下げ及び子どもの均等割の軽減を求める請願について
【賛成少数で不採択】

昨今の新型コロナウイルス禍での物価高騰、年金引下げなどにより、保険税の負担が加入世帯の生活を苦しめていることから、市に対し、保険税の引下げと子どもの均等割の軽減を求めるものです。



◎採択することに賛成

国民健康保険の加入者の多くは収入が少ない世帯であるにもかかわらず、保険税が増え、生活が苦しくなっている。また、子どもがいることで保険税が増えることは、子育て支援策にも逆行していることから本請願に賛成する。

×採択することに反対

本請願の主旨は理解できるものの、保険税をなるべく低くするために基金を毎年繰り入れているうえに、仮に一般財源まで繰り入れるとなると他の市民にも負担を強いることとなるため本請願に反対する。

議案に対する議員の賛否状況（賛否が分かれたものを掲載しています）

○：賛成 ×：反対 △：欠席 キ：棄権

－：議長（議長は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合に限り、可か否か、裁決権を行使します）

件名	議決結果	賛成 対 反	岡 本 令	垣 内 令	南 出 ボ	森 下 公	板 橋 公	辻 本 無	阪 本 共	高 本 共	石 橋 ボ	土 井 ボ	杉 本 無	堀 内 第	小林 刷	樽 井 刷	中 本 刷	田 中 第	岡 第
令和3年度橋本市一般会計決算	認定	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
令和3年度 橋本市国民健康保険特別会計決算	認定	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
令和3年度 橋本市後期高齢者医療特別会計決算	認定	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
令和3年度橋本市水道事業会計決算	認定	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
橋本市個人情報保護法施行条例	原案可決	13：2	○	○	△	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
市民のくらしを守るため、国民健康保険税の引き下げ及び子どもの均等割の軽減を求める請願	不採択	2：13	×	×	△	×	×	×	○	○	×	×	×	×	－	×	×	×	×
橋本市議会の個人情報の保護に関する条例	原案可決	13：2	○	○	△	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○

議員名の下欄に各会派の略称を記載しています。

正式名称は、(共)日本共産党橋本市議員団、(刷)刷新クラブ、(公)公明党議員団、(令)令和クラブ、(ボ)ポーラスター、(第)第一義、(無)会派に所属しない議員です。

認定!!

令和3年度各会計決算

決算委員会の審査3日間の概要

一般会計 特別会計9 企業会計3 合計13会計

令和4年10月19日・20日・21日の3日間にわたり、決算審査特別委員会を開催し、各会計決算について審査を行いました。12月定例会において、委員長が審査内容を報告し、いずれの会計決算についても認定しました。

なお、各会計決算の内容については、広報はしもと2022年11月号で詳しく紹介されています。

また、委員会審査の様子は、YouTubeの橋本市議会チャンネルでご覧いただけます。



一般会計



【賛成多数で認定】

質疑

問 生活保護の相談件数について

答 令和3年度は108件の相談を受け、31件の保護決定をしています。取り下げが2件、境界層措置をすることて却下した事例等が3件あり、残り72件は制度について知りたといった相談内容になります。



令和3年度
決算審査特別委員会

委員長	辻本 勉
副委員長	中本 正一
委員	垣内 憲真
委員	板橋 久英
委員	阪本 和博
委員	石堀 中
委員	堀田

問 花と緑のリサイクル事業の基金について

答 令和3年度末で基金残額約580万円となっています。今後もしサイクル事業やSDGsにつながる事業への活用を検討していきます。

問 有害鳥獣対策について

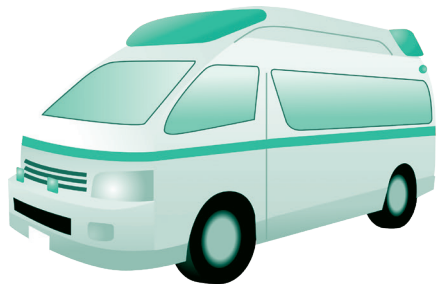
答 令和3年度は豚コレラの発生で、イノシシの捕獲数が令和2年度の1,000頭から224頭に激減していますが、捕獲活動は例年通り行っています。また、補助制度を活用し、防護柵を設置する人も増えており、鳥獣対策に力を入れています。

問 橋本市生活応援クーポン券について、家計や地域経済支援ならクーポン券ではなく現金にしてはどうか。

答 令和3年度は1人あたり3,000円のクーポン券を発行し、全体の58%が地元店舗で利用されました。現金の場合、支給してもいつ使用されるかわからないため、利用期限のあるクーポンにして早急に市内にお金が流通するようにしています。

問 コロナ禍の救急車の搬送状況について

答 救急車の出動件数・搬送人員が前年度より増えています
が、橋本市民病院等の受け入れにより、搬送に長時間かかることはありませんでした。



討論

× 認定することに反対

財政健全化のなかでも基金に積み立てられるお金や、1人3,000円のクーポン券を発行できるお金があるならば、困っている世帯への施策にもっと使うべきだったと判断し、本決算に反対する。

◎ 認定することに賛成

本特別委員会は、予算が適正に執行されているかどうかを確認するもので、予算執行は適切であると判断し、本決算に賛成する。

特別会計



国民健康保険特別会計

【賛成多数で認定】

質疑

問 国民健康保険短期被保険者証と被保険者資格証明書の交付件数は。また、滞納者への対応は。

答 短期被保険者証は371件、被保険者資格証明書は43件です。被保険者資格証明書は、1年以上滞納のある方に交付しています。滞納のある方には未納分の納税通知書を送付し納税相談の案内をしています。

討論

× 認定することに反対

被保険者の約64%の方が保険税軽減措置を受けている。高い保険税が市民を苦しめているため本決算に反対する。

◎ 認定することに賛成

医療費が増えるなかで国民健康保険税の増額は理解できる。国民健康保険は、国民皆保険の最後の砦であり、予算執行に関しては適正に使われており問題はないと判断し、本決算に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

【賛成多数で認定】

質疑

問 不納欠損額が前年度より増加となった理由は。

答 滞納者が増えたことによるものです。滞納されている方には電話等で状況を確認し、納税相談の案内をしています。

討論

× 認定することに反対

保険料は増加しており、年金の少ない方の負担は大きくなっている。後期高齢者医療制度自体に反対であり、年金の少ない方にもっと寄り添っていただきたいため、本決算に反対する。

○ 認定することに賛成

後期高齢者医療制度は国が定めた制度であり、会計は適切に処理されているため、本決算に賛成する。

用語解説

不納欠損（ふのうけつせん）……未納となっている市の債権（税金や公課など）のうち、徴収の見通しが立たないなどの理由で未収金から除くこと。

企業会計



水道事業会計

【賛成多数で認定】

質疑

問 隔月検針になったことにより、漏水の発見が遅くなったことはなかったか。また、漏水に対して減免の制度はあるか。

答 毎月検針と比べると遅れることはあります。漏水については、一定の要件を満たす場合に減免する制度があります。

討論

× 認定することに反対

市民は近隣の自治体よりずっと高い水道料金を支払っている。これ以上値上げをしないことを要望し、本決算に反対する。

○ 認定することに賛成

会計は適正に処理されており、隔月検針を実施するなど経費削減の経営努力は評価できるものであるため、本決算に賛成する。



阪本 久代

(日本共産党
橋本市議員団)



紀州子いっばいサポートについて

質問 和歌山県は3人以上の子どもを育てている家庭の負担を軽減するために保育所や認定こども園などの食材料費助成を行っています。しかし、橋本市は実施していません。なぜ実施しないのですか。

答弁 公立幼稚園は家庭から弁当を持参いただいております。保育所やこども園の在園児との整合性が図れないことから、現在は実施していません。

今後に向けては、少子化対策の一環として、実施の時期を検討してまいります。

学校給食のパンを国産小麦粉に

質問 輸入小麦から除草剤(グリホサート)が検出されています。2015年に、国際がん研究機関は、「人に対しておそらく発がん性がある」としてグループ2Aにグリホサートを分類しました。安心、安全の給食のためには、国産小麦を使用するか、完全米飯給食にするかだと考えます。いかがですか。

答弁 現在、学校給食のパンの小麦粉は外国産ですが、農林水産省の残留農薬検査をうけており、厚生労働省が定める食品衛生法の基準に適合した小麦粉のみを使用しています。

国産小麦は少なく、必要量を確保することは困難であり、コスト面でも割高となります。また、食育推進の観点からも世界各国のいろいろな献立を食べることも重要だと考えており、完全米飯給食は考えていません。

市道の安全対策について

質問 市道の白線ラインが薄くて、夜間、運転に支障があることがあります。白線ラインの修繕の優先順位はどのように決めていますか。安全を確保するために年間予算を増やすべきではありませんか。

答弁 区画線、いわゆる白線ラインについては舗装の修繕にあわせて整備するほか、区画線のみの整備を毎年予算化し、順次整備をおこなっています。

優先順位の決定については、要望のあった箇所や道路パトロールにより発見した箇所のうち、基本的に自動車交通量が多い箇所や危険度、重要度の高い箇所から実施しており、現在は主に主要幹線道路の区画線整備を順次おこなっています。予算については、令和2年度以降は年間予算約340万円から480万円、延長約4kmから5kmの整備をおこなっています。



高本 勝次

(日本共産党
橋本市議員団)



コミュニティバス高齢者無料制度と 運転免許自主返納優遇制度実施の提案

質問 75歳以上のコミュニティバス利用者は、年間どれくらいですか。その人数に運賃無料制度を実施した場合、市の負担は、どれくらいになりますか。

答弁 令和3年11月の調査では、70歳以上の利用者の割合は、46%で運賃収入に当てはめると年間約150万円、80歳以上の場合、75万円が無料化による市の負担となります。

質問 以前、75歳以上の高齢者は、コミュニティバスの運賃無料でしたが、有料後、乗車人数が激減した理由は何ですか。

答弁 敬老バスの廃止が、理由の一つであると考えております。

質問 高齢者のコミュニティバス利用は、介護予防・認知症予防などにもつながる。運賃無料によって利用者が増えれば、相乗効果が出る。ぜひ無料制度の実施を。

答弁 これから先を見据えて、有償運送を増やしたり、あるいは地域の中で移動支援をしていただくこと、例えば、市が車をリースし、保険もメンテナンスもつけるという、将来に向けての課題を検討しているところです。

質問 運転免許自主返納者への優遇制度は、全国で増えています。本市でもぜひ実施して頂けるよう提案します。

答弁 年明けから、次回の生活交通ネットワーク協議会で提案し、協議を行うよう考えています。

紀伊半島防災のための 大規模広域防災拠点計画について

質問 「奈良県大規模広域防災拠点」は、奈良県五條市に建設を計画中です。恋野地区住民への日常生活や環境への影響が懸念される場合、和歌山県と協議し、住民に報告していただきたい。

答弁 住民に対して影響がある場合は、丁寧にお声をお聞きした上で、和歌山県にお伝えします。ただ本市が事業主体ではないので、詳細についての説明は、奈良県・和歌山県がすべきと認識しています。

応其地区の太陽光発電施設について

質問 発電施設設置箇所は、急傾斜地崩壊危険区域です。最上部の盛り土を再点検するための要望書を、和歌山県に提出し、書面による点検報告書を応其区に提出していただきたい。

答弁 現状の地形と過去の地形がどれくらい違っているのかを踏まえて、確認を行い、点検や結果の報告について県に要望していきます。



森 下 伸 吾
(公明党議員団)



学校等におけるてんかん発作時の 口腔用液(ブコラム)の投与について

質問 文部科学省では、学校などで児童生徒がてんかん発作を起こした場合、教職員らが迅速に鎮静させるための治療薬「ブコラム口腔用液」を投与できることを関係者に知らせる事務連絡を発出し、周知を呼び掛けている。

てんかん発作時のブコラム投与の取組みについて問う。

答弁 これまでは平成28年2月29日付けで発出されている「学校におけるてんかん発作時の坐薬挿入について」に基づき、学校等において対応が行われています。

現在、市民病院小児科では、てんかん発作の症状があった患者にはダイアップ等の坐薬を処方していますが、ブコラムを処方した症例はこれまでになく、ブコラムを処方するような「てんかん重積状態」という、発作が頻回に起こる難治性てんかんのような専門的な治療が必要な患者については、大阪母子医療センターなど高度医療機関への紹介を実施しています。

現在のところ、市内の園及び小中学

校において、ブコラムを処方されている子どもの申し出はありませんが、引き続き関係機関との連携に努め、慎重に対応していきます。

制服のジェンダーレス化の 現状と今後の取組みについて

質問 制服のジェンダーレス化に向けた取組みは、全ての子どもの人権を尊重し、誰もが安心して過ごせる学校を目指す点において、推進すべきことであると考えます。本市の制服のジェンダーレス化の現状と今後の取組みについて、当局の見解を問う。

答弁 小学校で男女共用のブレザーのみの制服を導入している学校が1校、男女別の制服を導入している学校が5校、私服の学校が8校です。

中学校は昨年度から取組みを進めており、既にスカートとスラックスの選択制を導入している学校が1校、来年度からスカートとスラックスの選択制を導入する学校が2校、従来の男女別制服の学校が2校となっています。この男女別制服の2校についても見直しの必要性については職員間で共通理解を図っています。

これからの性差について悩みを抱える児童生徒が安心して生活できる環境作りに努めるとともに、対象児童生徒や保護者に対してきめ細かな対応ができるよう、学校や関係機関と連携した取組みを進めます。



板 橋 真 弓
(公明党議員団)



出産・子育て応援交付金事業について 妊娠時から伴走型相談支援と 経済的支援の充実

質問 国の第二次補正予算に、妊娠期からの伴走型相談支援と妊娠・出産時に計10万円相当の給付をセットで実施する新規事業「出産・子育て応援交付金」が盛り込まれた。

全ての妊娠婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるように妊娠届時より妊婦や特に支援の手薄な0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信を行うことで必要な支援にともなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、市町村が創意工夫しながら、出産育児関連用品の購入費助成や産前・産後ケア、一時預かり、子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を一体として、来年度以降も継続的な支援を実施するとしている。

本市の子育て支援事業の取組みを加速させるものと考えるが、本市のお考えは。

一般質問

答弁

本市では、今回の出産・子育て応援交付金事業として、一人の妊娠婦に妊娠届出時、妊娠8か月前後そして出生届出後の計3回の面談を実施し、妊娠届出時と出生届出後においてそれぞれ5万円ずつ計10万円の経済的支援を行います。令和4年4月以降の出生が対象となります。面談時には子育てガイドやアンケートを実施し、産後の育児期にも随時子育て関連イベント等の情報発信を行い、継続して伴走型支援を行っていきます。

本市の子育て世代包括支援センターでは妊娠時から切れ目のない支援を行っています。妊娠早期から支援を必要とする妊婦の数は年々増加しており、本事業の実施により、全対象者に丁寧な相談の機会が設けられることになり、支援の充実が図られることとなります。12月中には、新たにLINEによる相談も開始する予定です。

妊娠早期からのこのような手厚い支援により、保護者との間で早期から信頼関係が得られることで、望まない妊娠や貧困など複雑な事情を抱える家庭の早期把握、虐待等の早期発見・早期支援に繋がり、本市の子育て支援事業の取組みをさらに加速させるものと考えます。

今後、本市の切れ目のない支援のさらなる充実を目指して、本事業について情報収集し、国の方針に基づき、より良い事業構築を継続的に進めたいと考えます。



垣内 憲一

(令和クラブ)



こども基本法及びこども家庭庁創設に係る本市の見解と対応について

質問 機構改革に与える影響について

答弁 本市は、子育て世代包括支援センターを健康福祉部内に設置し、妊娠から18歳までを対象として切れ目のない支援を実施しています。また、母子保健係と、DV・児童虐待等の児童福祉に関するこども家庭応援係を統合しており、こども課や教育委員会など関係機関との連携を継続・強化していますので、しばらくは現状のまま運営していく方針です。

質問 こども家庭センター設置への努力義務について、今後どのような人材等を必要と考えているのか。

答弁 人材については、母子保健・児童福祉双方の十分な知識を持つ統括支援員を中心とし、子ども家庭支援員や保健師等の専門職が、一体的に支援を行う体制を構築することが求められます。個別事例対応を通じてさまざまな経験を積む体制づくりの必要性を感じています。また、保健師以外では、保育士、社会福祉士などが必要と考えられます。

質問 こどもまんなか社会へ、市はどのような認識を持っているのか。

答弁 要約すると「子どもにとって最も良いことは何か」を、国や自治体、周りの大人が考えていこうとする社会づくりと捉えています。

質問 こどもまんなか社会の実現に向けて、市は具体的にどのようなイメージを持っているのか。

答弁 12月広報紙で特集された「子どもの発達相談への関わり」もその一つと考えます。新入園の申込の際に、子どもの成長過程で不安がある場合、その保護者だけが考えるのではなく、行政も関わっています。最終的には保護者の判断になりますが、就学前の大事な時期をどう過ごすかを、保健師や発達相談員、保育士などが相談に乗り、子どもを中心に、一緒に考えている取組みが「こどもまんなか社会」への実例の一つと考えています。

質問 若い親に対して、子どもたちがどう関わってほしいと感じているのか。

答弁 この機会に、子どもとゆっくりに向き合ってほしいと思います。子どもの権利とは、「成長途上にある子どもたちが安心して成長するために、国や大人が大切にすべき権利」とも捉えられます。子どもをひとりの人間として尊重し、一緒に考えて決めることを大切してほしいです。自分の権利と他者の権利の双方を尊重することで、自身も周りの人も大切にできる大人に成長してほしいと考えています。



南出 昌彦

(ポラスター)



橋本市産品のブランド化について

質問 橋本市農産物産地化プランのこれまでの成果と課題について

答弁 全量を販売できる出荷システムを構築できていないのが最大の理由です。

質問 生産者が伸びていない理由は、販路が大きく確保できていない。

質問 廃棄物を利用した有機肥料の商品化の目的は。

答弁 現在、生産事業者が有機資材の認定申請を行っていますが、認定され次第、JA資材センターで販売開始できるように協議をしています。早ければ令和5年度中に商品化できます。

質問 みどりの食料システム法にある持続可能な農業の実現に、社会の流れに沿って修正することだが、2050年までに目指す姿として設定されている数値目標を早期達成すれば、一つの橋本市のブランド化に繋がるのでは。

答弁 有機農業を具体化していかねばならないと考えています。また、体制づくりについても国・県の支援をもらいながら取り組みます。

質問 農産物以外に、パイル製品、釣り竿の穂先・タオル・布巾・ぬいぐる

み等の商工業産品もあります。農工商の総合力で地域ブランドに取り組んでいただきたい。

答弁 農産物以外では取り組めていない中で、集客力や発信力の高い民間企業との連携等による魅力発信事業の実施のほか、商工会議所・商工会・繊維組合等と十分話し合って取り組んでいきたい。

橋本市を活性化させる「芸術祭の開催」について

質問 近年の市の祭り等の開催効果は。

答弁 紀の川橋本サマーボール2019の経済効果は算出できていません。また、芸術祭については現在のところ開催する予定はありません。

質問 今年度の花火大会予算は計上されていない。市民から花火大会開催の要望もあり、経済効果のある芸術祭と同時開催すればとの理由で芸術祭を提案した。国の方針として、文化資源の観光活用を後押ししているが。

答弁 文化資源は非常に大事だと考えています。

質問 芸術祭の開催は、地域住民への教育効果や長期的な人的資本形成効果、地域イメージの向上等、地域振興に利点も多いと考えるが、いかがか。

答弁 文化・芸術はゆとり・潤いを実感できる豊かな生活をするうえで、欠かせません。今後は市民の創作意欲・普及活動の支援に取り組んでいきたい。



石橋 英和

(ポースター)



コロナ終息後の市民病院の 経営危機を乗り切るために

質問 コロナ拡大以前、経営難に苦しんでいた橋本市民病院ですが、この2年間は国のコロナ支援策により経営状態は比較的良好だったようであります。

しかし、言うまでもなくそれは一過性の国の政策に過ぎず、基本的な病院経営が改善強化されたものではありません。基本的な部分にメスを入れなければなりません。私は橋本市民病院の入札結果に異議を唱えます。

①市民病院の過去3年間における落札金額の合計はいくらですか。またそれらの入札において、予定価格に対する落札価格の割合は何%ですか。

②市民病院の過去3年間の落札金額合計を仮に85%で計算すると、差額の合計はいくらですか。

答弁 ①市民病院の過去3年間に
おける落札金額の合計及び予定
価格に対する落札価格の割合に
ついて、令和元年度から令和3年
度の入札実施状況は、不調となっ

たものを除き、約2億6千万円で、
予定価格については公表してい
ないため、詳細な内容は控えさせ
ていただきますが、3年間の平均
落札率は約98%となります。これ
は、過去3年間の入札が主に医療
機器が対象であり、過去の購入実
績やベンチマーク等を参考に市
場実勢価格を調査し、業者に指名
競争入札に係る指名通知を出す
前に、可能な限り競争性を確保し
ながら、価格見直しを行い、予定
価格を決定していることによる
ものです。予算編成時等における
当初見積価格との比較では、平均
約85%となっています。医薬品や
医療材料には、国が定める公定
価格があるため、予定価格はなく、
入札ではなく見積もり合わせに
より、納入業者を選定しています。
また、これら物品は、代理店方式
による卸売業者からの購入がほ
とんどとなっています。

②過去3年間の落札金額合計を
85%で計算した場合の差額金額
の合計は、約3,380万円とな
ります。



土井 裕美子

(ポースター)



ひきこもり支援の委託について

質問 橋本市では、民間の団体に補
助金を交付し「ひきこもり支援ス
テーション事業」を行っていますが、
現在その補助金は人件費として使う
ことが出来ません。活動メンバーは
すべてボランティアとして活動して
いただいています。

全国的に見てもひきこもり支援は
重要な課題であり、いつまでもボラ
ンティア活動に頼っているには限界
があります。

和歌山県内でも、27の市町村がひき
こもり支援団体による居場所を設置
していますが、そのうちの25市町村は
委託事業として取り組んでおり、補助
金事業としているのは橋本市を含め
2市町のみです。一日も早く、委託事
業としてひきこもり支援を進めてい
ただきたいと思いますがいかがですか。

答弁 8050問題など、ひきこもり
の世帯は多くの問題が複合化してお
り、長期的な支援や重層的支援、伴走
型の支援が必要になってきています。

こうした状況を踏まえ、令和6年度
から民間団体への委託を目指し橋本・
伊都圏域での広域実施も視野に入れ、

1市3町で令和4年7月より毎月協
議を行っています。

質問 委託となる令和6年度までの
1年間だけでも人件費として使える
補助金を、当該団体に別枠で補助す
ることはできませんか。

答弁 補助金の中でどのくらいの人
件費を必要としているのかを聞き取り、
民間団体と担当課で協議をして決定
していきます。

公共機関や希望する事業所に 筆談ボードの無料配布を

質問 聴覚や発話に不安のある方
に対して、多様なコミュニケーション
手段の一つとして公共機関や病院
事業所などへ筆談ボードの無料配布
を提案します。

答弁 市の関連施設については受付窓
口に「耳マーク」などを表示し、筆談
ボードを各課の窓口を設置します。市
内の事業所などには、筆談ボードの無
料配布の予定はありませんが、設置い
ただけるようホームページや広報で周
知し、商工関係や医師会などにも協
力を求めながら、市内事業者への啓発
を行っていきます。



耳マーク

聞こえが不自由なことを
表すと同時に、聞こえな
い人・聞こえにくい人へ
の配慮を表すマークです



堀内 和久

(第一義)



南海高野線橋本―紀伊清水区間の新鉄橋の提案について

質問 数年前の台風で南海高野線の鉄橋に危険性が出たことで、橋本駅から高野山方面に、復旧完了まで臨時バスが沢山出勤したのは、まだ記憶に新しいと思います。橋本市は名前のとおり橋が多いです。今回提案したいことは、大きなお話で、当局は民間企業の話といわれるかもしれませんが、多くの市民や、観光客が利活用し、共に時間を過ごして来ての今であります。今は、鉄橋が老朽化し、コロナ禍でこの企業も苦しい時です。苦しい時ほど知恵を絞り、老朽化にストツプをかけて飛躍のチャンスのように考えたいと思います。言いたいことは、新しい橋を架ける事業に、共同で計画を持つていくこと。電車の鉄橋と上下、もしくはサイドスペースに道路も計画に盛り込む。そして、水道橋の予備水管設置準備。昔は、この紀の川でオリンピックメダリストが泳ぎの練習をしていたなど、無人駅の設定建設で、橋本市の知名度を上げ観光戦略の向上を図れます。更に利用者が増えて上田区と河瀬の開通で街の

活性化が予測されます。夢のような提案について市の見解を伺います。

答弁 本市の橋は南北を結ぶ重要なインフラです。現在、市内6つの橋と鉄橋は人や物の移動等日常生活を支える役割を担っており、それぞれの所管での維持管理が重要です。夢のある提案ですが事業化の構想はありません。

質問 構想なしは理解します。ではこの8年で財政健全化とコロナ以降、本市の政策で夢のビジョンは何ですか。

答弁 夢よりも行政職の立場からは地に足をつけ施策を続けることが職務であると思います。

質問 市長はよく職員に「考えろ」「提案しろ」と言いますが、過去に先輩議員の提案を却下した後その提案が花開いた例もあります。未来を見据えた今回の提案を補助金なども踏まえ考えて欲しいです。仮に予算60億円として、財政健全化になり、今までの予算を再分配だけでなく、DMOまで設立して、次に橋本市は何をするのか、どんな夢を見せてくれるのか、河内地区発展も踏まえ伺います。

答弁 少子化の中、予算配分の仕方が重要です。財政は改善しましたが、一つ間違えると財政が厳しくなります。県からも建設部門で新事業はないか問われているところですので、財政担当と協議し、これからの橋本をどういうまちにするかをSDGsも踏まえて考えていきます。

その他の質問 大阪・関西万博について



田中 博晃

(第一義)



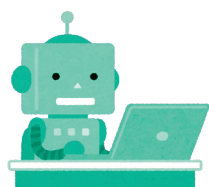
橋本ワクワク大作戦 vol.3

質問 人口減少による税収減が見込まれ職員削減に繋がる。しかし、国や県の業務が市に移管され、結果、職員が疲弊し、住民サービスにも影響を与える。そこで業務委託の一部にPFS（成果連動型民間委託契約方式）を導入することについて本市の考えは。

答弁 現状では検討段階にも入っていません。今回の質問を受け、先行事例などを情報収集します。導入可能だと判断できれば、予算化を含め令和6年度の実施に向け必要な措置を講じたいと考えています。

質問 RPA（AI等認知技術を活用し業務の代行をする取組み）導入は。

答弁 平成30年に実証実験を行いました。制度の更新などにより必要な手順に不具合が生じたこと、文字読み取り機（OCR）の文字認識が思った以上に機能しなかったなど継続的な導入には至りませんでした。



質問 OCRを始めAIは相当進歩しているが。

答弁 和歌山県では事務の標準化に向けた調査を行っています。情報システムの標準化や業務委託化にむけた取組みについては、費用対効果も勘案し、よく検討したいと思っています。

質問 給与システムにおいて、調査では運用に難点があると聞いている。また現在残業申請は手書きである。改善の余地しかないのでは。

答弁 現在のシステムに若干動きの悪いところがあるのは否めません。次回更新までに職員からの聞き取りや他自治体のシステムの研究など、洗い出しを行います。また時間外の申請は電子決裁導入に合わせた上で、電子化を進めていきます。

質問 民間活力の活用のひとつとして、例えば市役所敷地内にコンビニを設置し、マイナンバーカードをお持ちの方はそちらで窓口業務の代行を、またATMや郵便業務もできることから、市役所がより便利になる。また職員の再配置もでき、人手不足が少しでも解消できる。庁舎建て替えのタイミングで議論すべきでは。

答弁 若手職員のプロジェクトチームもございますので、民間活力の活用も含め検討できると考えています。

議会からのお知らせ

information from assembly



常任委員会行政視察研修

総務委員会 (令和4年11月7日・8日)

兵庫県神崎郡福崎町

- ・ワゴン車を活用したコミュニティバス等の取組みについて
- 広島県尾道市
- ・防災無線個別受信機による防災情報の提供について



経済建設委員会 (令和4年10月24日・25日)

三重県伊賀市

- ・伊賀ぶらり体験博覧会等観光事業について
- 三重県津市
- ・移住・定住支援政策について



文教厚生委員会 (令和4年11月1日・2日)

愛知県豊橋市

- ・社会教育施設の複合化について
- 愛知県豊田市
- ・ICT教育について



☆ 3月定例会の予定

- | | |
|------|----------------|
| 2.27 | 本会議 (提案理由の説明) |
| 3. 6 | 本会議 (一般質問) |
| 7 | 本会議 (一般質問) |
| 8 | 本会議 (一般質問) |
| 9 | 本会議 (議案審議) |
| 10 | 令和5年度予算審査特別委員会 |
| 13 | 令和5年度予算審査特別委員会 |
| 14 | 令和5年度予算審査特別委員会 |
| 15 | 総務委員会 |
| 16 | 経済建設委員会 |
| 17 | 文教厚生委員会 |
| 23 | 本会議 (委員長報告) |

議員研修会を開催しました!

令和4年12月26日、牧瀬 稔氏(関東学院大学法学部准教授)を講師として招き、「人口減少時代に地方議会がなすべきこと」のテーマで講義を受けました。

かつらぎ町・九度山町・高野町の町議会議員も参加し、橋本・伊都地域の議員間の連携も図りました。



この議会だよりは環境に優しい
植物性インク(VEGETABLE OIL
INK)と再生紙を使用しています

編集・発行：橋本市議会 橋本市東家一丁目1番1号
Tel. 0736-33-6107 e-mail gikai@city.hashimoto.lg.jp



橋本市議会

